

エゾエンマコオロギ

バッタ目コオロギ科

Teleogryllus infernalis (Saussre)

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

日本海側では生息地が海浜に限られるようで、本県においては過去に数例の記録があるに過ぎず、近年の記録はまったくない。

形態

体長25mm前後。姿や大きさ、色彩は、近似種のエンマコオロギによく似ているが、鳴き声がまったく異なり、単調にリーリーと鳴く。

国内分布

北海道と本州に分布し、南限は和歌山県といわれている。北海道では多いが、本州における分布は局地的である。

県内分布

加賀市、小松市、内灘町、輪島市の海浜における古い記録がある。

生態

海浜植物帯およびその内陸部の草地に生息する。卵越冬で、成虫は秋に発生する。

生息地の条件

草のまばらな海浜が生息地となっている。

生存の危機

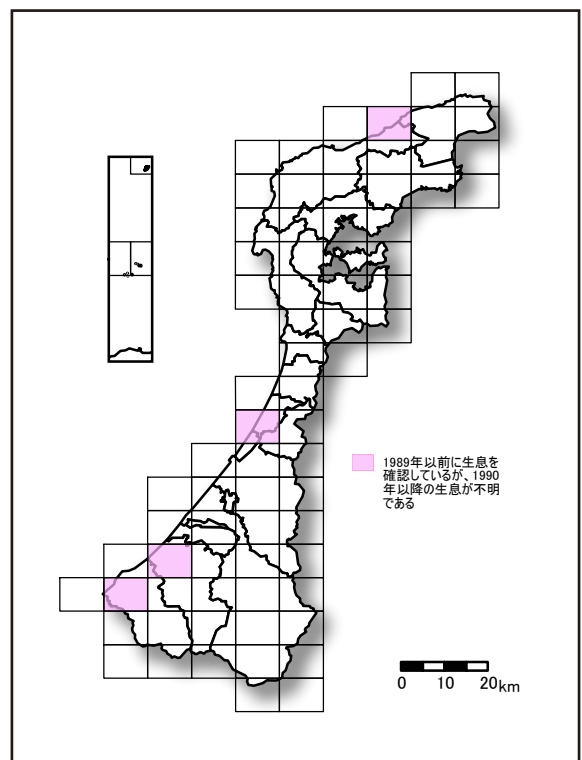
海岸付近の開発や護岸工事は本種の脅威となっているものと思われる。また、近似種のエンマコオロギが海浜にも生息していることから、競合によって本種が減少している可能性もある。(A)

参考文献

徳本 洋 1998. バッタ目. 石川県の昆虫 : 62-67. 石川県自然保護課.



写真提供者: 吉岡明良



県内の分布